

かいぞう



今年由市制120周年!～市制100周年を振り返って～

市制施行1897.8.1

海蔵地区20年間の移り変わりをたどってみました…



阿倉川駅「萬古の塔」

萬古焼モニュメント



「海蔵エコクラブ」の設立

地球市民四日市環境フォーラム

すてき、海蔵 いつまでも～焼きもののかおりと花いっぱい～

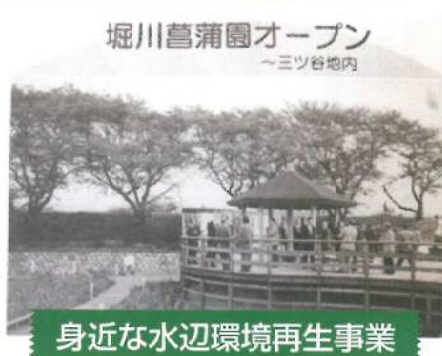


海蔵音頭



地域から地球を守ろう

海蔵地区分科会開催



堀川菖蒲園オープン
～ミツ谷地内

身近な水辺環境再生事業

市制100周年記念事業から

生まれた地区自慢の数々

平成九年度に
は各地区で多彩
な100周年記念
事業がおこなわ
れました。わが海



蔵地区においてもエコクラブ「海蔵しぜんくらぶ」の設立、「堀川菖蒲園」のオープン、「海蔵音頭」の制作、「萬古の塔」の設置など今や海蔵地区の象徴となる環境教育・文化が生まれました。あれから10年が経過して、海蔵地区も大きく変わり、より一層住みよい街へと変化しました。一方、地域には高齢化や災害への対応などの課題、また広くは環境問題などもあります。これらのことに向けて、私たち住民は、まずは隣近所から共に支えあう街づくりを意識して、行動したいものです。

海蔵音頭

アーみんなで歌おう みんなで踊ろう

海蔵音頭 海蔵音頭 海蔵音頭

一、アー春は桜の吹雪の舞いに

赤いぼんぼり 風わたる

霞む花びら ハラハラ

海蔵よいと 海蔵よいと ソウヤンカー

二、アー 夏は菖蒲の花咲き乱れ

水に遊ぶよ 鷺の群れ

川の流れも サラサラ

海蔵よいと 海蔵よいと ソウヤンカー

(歌詞には地域の四季をもちこみ四番まであります)

海蔵地区人口 総数13,743人 男6,845人 女6,898人 世帯数5,889戸 (平成30年2月1日現在)

編集・発行/海蔵地区まちづくり協議会・広報部 印刷/水九印刷株式会社

海蔵地区の20年 地域コミュニティのできごと

平成9年度	<p>【市制100周年記念事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エコクラブ「海蔵しぜんクラブ」発足（5月） ・海蔵マップ発刊（5月 海蔵地区社会福祉協議会、同地域社会づくり推進委員会、同市制100周年記念 事業推進委員会） ・堀川菖蒲園オープン行事（6月8日）：環境庁「身近な水辺環境再生事業」の補助金を受け、市が整備 ・公募により海蔵音頭を制作（8月1日） ・萬古焼モニュメント除幕式（10月18日 近鉄阿倉川駅前）
平成10年度	○山手中学校「地域クリーン大作戦」開始（現在は11月に実施）
平成11年度	○市主催市民総ぐるみ総合防災訓練実施（9月1日 海蔵川河川敷）
平成12年度	○海蔵地区地域団体事務局開設（7月17日 海蔵地区市民センター2階） ○阿倉川新町が大字東阿倉川から分離（1月16日 旧昭石グラウンド開発宅地）
平成13年度	○海蔵福祉の家開設（高齢者の交流施設 4月1日 西阿倉川1区地内）
平成14年度	○阿倉川新町自治会発足（4月1日） ○市の地域への補助金の見直しに伴い海蔵地区地域社会づくり推進委員会廃止（3月31日）
平成15年度	○海蔵地区連合自治会から、みゆきヶ丘一丁目及び二丁目退会し、大谷台地区連合自治会へ（4月1日） 地区社会福祉協議会等の組織も構成変更 ○海蔵地区防災会発足（8月1日）
平成17年度	○海蔵福祉の家が海蔵保育園旧園舎に移転（9月15日）
平成18年度	○海蔵セフティネット協議会発足（10月19日）
平成21年度	○海蔵第2学童保育所が海蔵小学校東の「風の家」2階に開所（4月1日）
平成22年度	○海蔵地区まちづくり構想策定委員会発足（5月10日）
平成24年度	○海蔵地区まちづくり構想を市長へ提出（5月25日） ○海蔵地区ホームページ開設
平成25年度	○かいぞう文庫（海蔵地区市民センター図書室内）設立40周年：「こんな本読んだよ」読書絵募集
平成26年度	○海蔵地区まちづくり構想を基礎とし、都市計画マスタープラン地域地区別構想「海蔵地区」を策定（10月21日） ○海蔵地区まちづくり構想・都市計画マスタープラン推進委員会（略称：海蔵地区都市マス委員会）発足（1月19日） ※これに合せて海蔵地区まちづくり構想策定委員会を廃止
平成27年度	○海蔵小学校敷地内の海蔵第1保育所に隣接し、第2学童保育所新築移転開所（9月1日）
平成28年度	○海蔵地区まちづくり協議会発足（12月12日）
平成29年度	○海蔵地区社会福祉協議会組織変更（6月1日） 地区連合運動会や地区文化祭を実施していた事業部が独立し、新組織の海蔵地区事業企画委員会発足 また、広報部が海蔵地区まちづくり協議会広報部に移管 ○海蔵野田みどりサロン発足（高齢者交流の場）（10月20日 野田公会所）

海蔵地区に移り住んで

平成21年に、鈴鹿市から松ヶ丘のウエリスパーク阿倉川へ転居しました。5人家族です。

市の中心市街地に近い新興住宅地で、パーク内には「景観・外構ルール」があって、住むには良さそうだと感じたから。また、駅や学校、病院、スーパーなど生活面の利便性が整っていたことから転居を決めました。同世代の方が多く、子ども達の年齢も近くて賑やかです。中秋の名月の日には、子供会の「お月見どろぼう」が行われ、玄関先のお菓子を求めて子ども達が行きかいます。ほぼ同じ時期の入居なので、互いに気遣い合え、住み心地も良好です。

小・中学校がマンモス校で、子どもが切磋琢磨して成長するには、ありがたいと思っています。文化祭や運動会、海蔵川桜まつりの写生、ニュースポーツ大会、グラウンドゴルフ大会、海蔵川清掃など、地域の行事に楽しく参加しています。これから、異世代の交流の場が増え、若い世代が発信する行事があると、もっと良いのではと思います。



末永町・本郷町の変遷

北は海蔵川、南は三滝川、東は四日市港、西は三滝川から海蔵川へ合流する三滝新川に囲まれた三角州の近鉄線以西に位置します。20年以上前は大雨が降れば、唯一のメイン道路である近鉄川原町駅南の東西に走る道路は水が溢れ、恥ずかしながら長靴で通勤したものです。当時の街並みの大半は、木造の古い家が続き、地区内の生活道路は狭くて「路地」と言った程度の道しかありませんでした。また、生桑方面から四日市駅や国道1号線へ抜けるには、三滝川の狭い堤防道路一本で、事故も起きやすい道でした。20数年前からやっと動き出した区画整理事業は、住民の思いとは懸け離れた場所に換地させられたり、補償の査定等色々な不満がありましたが、現在完成された街並みを見れば、昔と違い広いカラータイルの歩道と街路樹、交通の利便は各段に上がり、市道赤堀山城線の開通など四日市の発展に大きく寄与しています。



海蔵地区の20年 都市計画・行政施設のできごと

平成9年度	○末永・本郷土地区画整理事業進む(平成4年7月道路築造・住宅造成工事着手、完了:平成33年3月予定) ○【市制100周年記念事業】 地球市民四日市環境フォーラム海蔵分科会開催(10月18日 海蔵小学校体育館) ○海蔵幼稚園創立50周年式典開催《創立記念日 6月18日》(6月22日) ○山手中学校創立50周年式典開催《創立記念日 4月15日》(10月19日 四日市ドーム)
平成10年度	○三滝川の野田橋の架け替え竣工(11月)
平成11年度	○阿倉川交番が旧交番北側に新築移転(3月31日)
平成14年度	○山手中学校生徒 堀川浄化活動開始(3年生 菖蒲園付近の堀川にEM発酵液を散布)
平成15年度	○海蔵川の末広橋及び三滝川の堀木橋の架け替え、海蔵地区市民センター以南の市道赤堀山城線も竣工し開通(3月)
平成16年度	○海蔵保育園が西阿倉川2区地内の御厨飽良河神社隣接地から市道赤堀山城線沿いの新園舎へ移転(5月1日) ○四日市市消防団海蔵分団に新消防車配車(12月19日 分団詰所・車庫 海蔵地区市民センター敷地内)
平成17年度	○三滝川野田橋・久保田橋間の「三滝川ふるさとの川整備事業」による左岸整備完了
平成18年度	○国道一号 金場交差点から海蔵橋方面へ歩道設置工事及び電線共同溝地中化整備事業一部実施
平成19年度	○近鉄川原町駅付近連続立体交差事業工事着工 (11月 県・市・近畿日本鉄道が工事協定締結、完成:平成32年3月予定) ○三重県燃料電池研究センター開設(5月10日 三重県工業研究所産業研究室敷地内) ○市道阿倉川西富田線が山手中学校北側の交差点まで開通(9月)
平成24年度	○海蔵小学校児童数が市内1位(5月1日現在:831人)
平成26年度	○近鉄川原町駅下り線、高架へ切り替え・新高架駅舎使用開始(10月25日)
平成28年度	○山手中学校生徒数が市内1位(5月1日現在 694人) ○近鉄川原町駅上り線、高架へ切り替え・新高架駅舎使用開始(5月8日) 海蔵川～三滝川間の踏切解消 ○上野遺跡第3次発掘調査で上野1号墳等検出(現地調査期間12月1日～1月30日) 上野1号墳・上野遺跡現地説明会(1月14日)



海蔵地区人口等の 20年間の変化	世帯数 (世帯)	性別		総人口 (人)	平均年齢(歳)			0～14歳(人)			15～64歳(人)			65歳以上(人)		
		男 (人)	女 (人)		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
平成9年10月1日現在	3,999	5,714	5,663	11,377	38	41	40	925	873	1,798	4,042	3,835	7,877	747	955	1,702
(対総人口割合)		50.2%	49.8%					8.1%	7.7%	15.8%	35.5%	33.7%	69.2%	6.6%	8.4%	15.0%
平成29年10月1日現在	5,889	6,847	6,908	13,755	42	46	44	1,002	949	1,951	4,520	4,205	8,725	1,325	1,754	3,079
(対総人口割合)		49.8%	50.2%					7.3%	6.9%	14.2%	32.9%	30.6%	63.4%	9.6%	12.8%	22.4%

児童・生徒数(人)の変化(各年度5月1日現在)

	平成9年度	平成14年度	平成19年度	平成24年度	平成29年度
海蔵小学校	666	616	704	831	743
山手中学校	666	578	561	645	681

(市教育委員会 教育便覧より)



新しい道(赤堀山城線)ができて...

新しい道ができた平成8年頃から、ランニングコースとして利用していました。歩道があり夜でも明るく安全なので、今でも多くの方がランニングしたりウォーキングしたりしています。私自身は、信号が多いことなどからランニングすることがなくなりましたが、今では、運動不足解消のために徒歩通勤で利用しています。市内諏訪町に勤務先があることから、徒歩でも30分超。程よい距離です。電車やバスでは、そう感じる事のない季節の移り変わりを感じつつ、集団登校の小学生の元気な姿、自転車通学の学生に、我が子の当時の姿を思い起こしたり、充実した通勤時間となっています。また、行きは家事から仕事モードへの切りかえ時間となっています。家事を考えながら歩き始め、会社に近づくにつれ、昨日の業務をふりかえり、今日の業務の段取りを考えると貴重な時間です。そして、帰りは逆に仕事モードから夕食メニューを考え家事モードへと...



こんな風に充実した通勤タイムをすごせるのも、この新しい道ができたからだ大変嬉しく思っています。

海蔵しぜんクラブ誕生20年

生みの親から現在までパトシは続いて...

- ♥ 萬古焼の産地を象徴した阿倉川駅に立つ「萬古の塔」を眺めて当時に思いをはせました。地域の方々と立ち上げた「海蔵エコクラブ」は嬉しいことに今日まで子どもたちへの環境保全活動が続けられています。継続する大切さと共に持続する大変さはその数倍あることを痛感しています。心から感謝申し上げ今後の活動を楽しみにしています。(元海蔵地区市民センター社会教育指導員 現四日市大学エネルギー環境教育研究会 事務局長:矢口さん)
- ◆ 現在部員は24名。毎年小学校を通じて部員を募集。主な活動内容は恒例行事として6・9月の海蔵川の水生生物調査とごみ拾い。8月には少年自然の家に一泊キャンプ。今は女子部員が多く、節水も意識したエコクッキングでクレープ作りや、県の環境学習情報センターも活用して苔玉や巣箱作りも実施。秋の自然観察で、どんぐりクッキーも作りました。(海蔵しぜんクラブ代表:加藤さん)
- ♣ (インタビューを終えて) どんぐりが美味しいなんてびっくり!こうして年月を重ねて、部員の保護者やお世話頂く役員さんの努力で、子どもたちの環境に対する興味や活動は今日まできっちり受け継がれています。(広報部員)

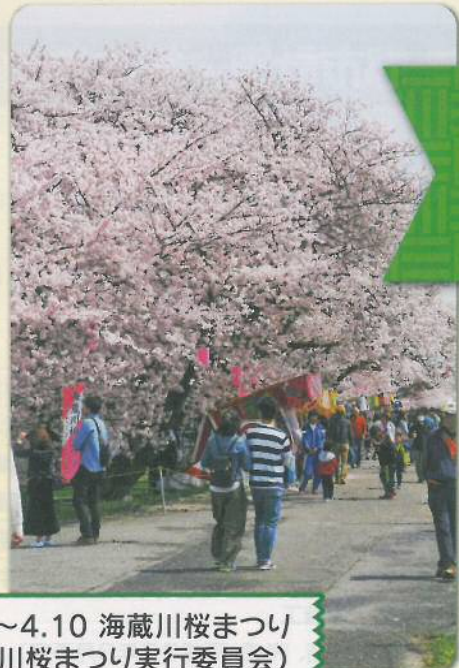


海蔵 この一年

たくさんの取り組みがありました。その中のいくつかをご紹介します。



3.26~4.10 海蔵川桜まつり
(海蔵川桜まつり実行委員会)



5.28~6.11 堀川菖蒲まつり
(社会福祉協議会 花部)



6.17 山手中学校1年生福祉体験教室
(社会福祉協議会 福祉部)



6.29 海蔵保育園長児と一人暮らし高齢者との交流会
(社会福祉協議会 福祉部)



6.25 ニュースポーツ大会
(社会福祉協議会 健康推進部)



7.15 星空観察会
(かいぞう文庫)



7.16 四日市市消防操法大会
(市消防団海蔵分団)



7.15 ドッジボール大会
(子ども育成者
連絡協議会)



10.17 海蔵幼稚園児と一人暮らし高齢者との交流会
(社会福祉協議会 福祉部)



10.7 人権を考える集い
(人権・同和教育推進協議会)



11.12 皆できれいに海蔵川・三滝川
(社会福祉協議会 環境部)



11.3 町かど花いっぱい運動
(社会福祉協議会 花部)



5.24 グラウンドゴルフ大会
10.16 (連合若生会)



11.11 山手中学校2年生安心安全教室
(セフティネット協議会)



11.26 グラウンドゴルフ大会
(社会福祉協議会 健康推進部)



11.25~26 文化祭
(地区事業企画委員会)



おばちゃま探検隊今日も行く!海蔵地区福祉の家「くすの木サロン」とは?



海蔵地区福祉の家は、平成13年、西阿倉川の民家を借りて、高齢者の憩いの場をつくることを目的にスタートし、平成17年、現在の場所(旧海蔵保育園)に引っ越したそうです。毎日、たくさんの方が「くすの木サロン」で、楽しく活動されているようです。最近では隣のくすの木公園で、元気に遊ぶ子どもたちの姿がみられるようになったとのこと。今回はみんなが集まる「くすの木サロン」を探検してみることにしました。



「くすの木サロン」で文化運動会しているんだって!!



11月18日(土)、「くすの木サロン」で、文化運動会が行われました。あいにくの雨で運動会は中止になりましたが、室内でいきいきと海蔵音頭を踊り楽しんでみえました。文化祭は、皆さんが日頃から熱心に作られたたくさんの作品が並べられ、大勢の方々が訪れ、会場には活気があふれていました。「ここに来るとみんなに会えるし、元気になれる。とても楽しみ」「文化運動会って学生にもどった気分になれてうれしいわ」とのこと。確かに、みなさん、若々しく元気モリモリで素敵だと思いました。



サロン紹介 パステルアートって!!素敵..やってみたいな!

12月4日(月)、パステルアートを楽しむみなさんの様子を探検しました。このサロンは、人気サロンで、2年前から始まり、現在は20名が2グループにわかれ、講師藤本昭代さんの指導のもとに作品を作っているそうです。この日はカラフルクリスマスカードを8名の方が作成。型紙を使って、パステルペンシルで描き、指や網などを使って、色をぼかし味のある作品を完成させていました。同じ型紙をつかって描いたクリスマスツリーもみんな違ってみんな素敵です。「水彩・油絵の具で描いたことはあっても、パステルははじめて」「道具を忘れたときはみんなであってあります」「頭を使って、手先を動かすことは、心にも身体にもいいからね」と仕上がった作品を手にして笑顔で語ってくれました。何だか楽しそう!おばちゃまもやってみたいと思いました。「くすの木サロン」では、折り紙、踊り、編み物、体操、川柳、パソコン、カラオケ、グランドゴルフ、音楽療法、キルト、コーヒーサロン、茶飲みサークルなど、曜日を決め活動しているそうです。



かいぞう歴史ロマン～上野遺跡で大発見！～

あなたは、知っていますか？

大字西阿倉川字上野で行われた、発掘調査（3次調査・平成28年度）で大発見があったことを…。

今では住所に「小字（こあざ）」を使うことはなくなりましたが、海蔵神社の西側に「字上野（あざうえの）」と呼ばれる場所があります。

遺跡が見つかったと、その場所の「小字」から遺跡名が決まることから「上野遺跡」と呼ばれています。

今回の調査では、古墳時代（約1400～1350年前）に造られた「横穴式石室がある古墳」と平安時代末～室町時代（約850～500年前）にかけての「様々な道具や生活の跡」などが発見されました。

なかでも、「和鏡」は四日市市内で初出土の大発見！！

平成29年1月14日に、現地説明会が行われ、雪が降る寒い日でしたが、たくさんの方が参加しました。

「横穴式石室」の東側には「基底石」が南北方向に5つ真っ直ぐに並んでいました。「基底石」は1つ数百キロ前後の石が使われていましたが、海蔵川流域で産出されたものではなく、員弁川上流域から運ばれた青川石と呼ばれる石でした。これは、水運を利用して大規模な古墳を造るほどの有力者が、この地域に存在していたことを裏付けています。



旧土地台帳付属地図改組図



「和鏡」には、菊花に鳥の図柄が！

「基底石」は、太陽が真上に来た時に、ぴったりと真南を指していたそうです。古墳時代に天文学や高度な測定技術もあったことがうかがえます。

現地説明会では、発掘された「和鏡」も見ることができました。茶色く、まだ汚れが付いていました。

発掘当時「横穴式石室」の床面には、須恵器の台付直口壺、短頸壺、高坏、坏身、坏蓋などが供えられていました。

今回の発掘調査より北側で行われた、1次調査（平成元年）と2次調査（平成2年）では、弥生時代の集落跡も見つかっています。このことから様々な時代の人たちがこの土地で生活を続けていることが想像できます。今、暮らしている私たちも「海蔵地区」の歴史を学び、未来へと繋げていきたいものです。

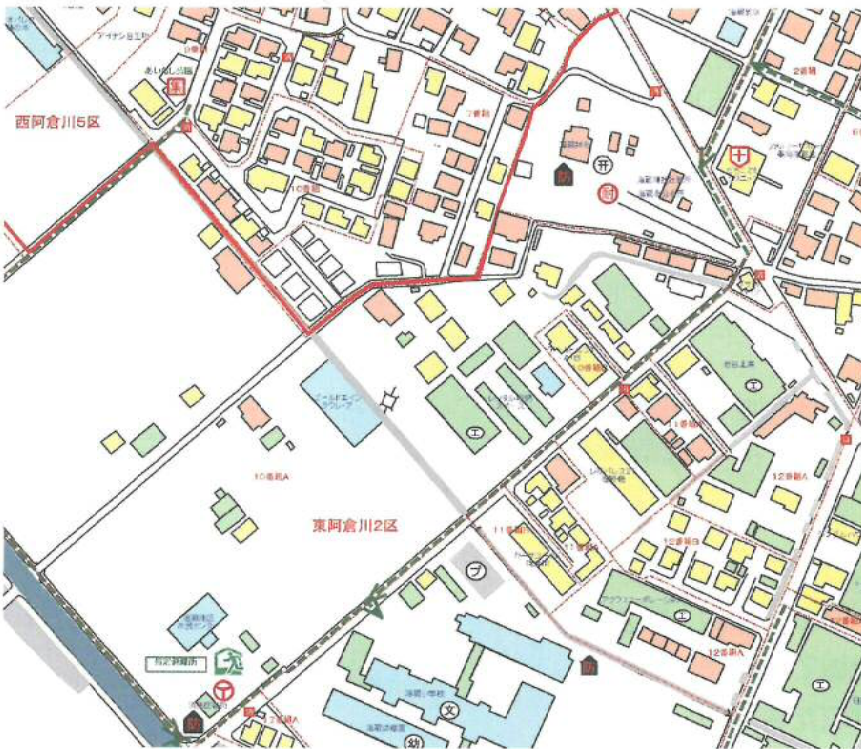
※「和鏡」の写真は四日市市教育委員会提供

今年度の海蔵地区防災会の取組み

大規模災害は、品を変え・姿を変えて、想像しがたい規模で来襲してきています。最近では熊本地震をはじめとする地震災害や九州北部等の集中豪雨災害などがありますが、県内においても、伊勢地域における集中豪雨災害が新しいところ です。

このような事態に備えるため、地区災害対策本部の設置・運営、避難所開設と運営に関する詳細な指針のマニュアル等を編集し、住民の皆様や自主防災隊の方々に非常時の対応を示してきました。

平成29年度は、地理・地形・社会情勢によって災害リスクが大きく変わることから、各町の危険箇所や災害の発生に対して、各町・丁目の地形・地質、人口、防災関連施設の実態がどのようになっているのかを調査しました。合せて火災時の延焼危険度を把握するため、各建物を4区分(木造構造・防火構造・準耐火構造・耐火構造)に種別分けを行い、各地区の地図上に表示し「地区防災カルテ」作成に向けた資料地図を作りました。



凡例

町丁目行政区界	+	病院・医院
各組境界	○	消防団詰所
市指定緊急輸送道路	⊗	交番・駐在所
小学校通学路	⊗	小中学校
一次集合場所	幼	幼稚園
指定避難所(小中学校)	保	保育園
緊急避難所(保育園など)	〒	郵便局
二次避難所	社	神社
指定避難地(公園・広場)	寺	寺院
緊急避難地	上	墓地
防災倉庫	工	工場
自主防災隊倉庫	G	ガソリンスタンド(協力店)
水防倉庫	コ	コンビニエンスストア(協力店)
防火水槽	水	水門 樋門・水門
耐震性防火水槽	テ	テレメーター水位観測所
プール	テ	テレメーター水位観測点
消火栓	海	海抜5mライン
	津	津波避難目標ライン

建物構造	延焼境界距離
木造	9m
防火造	5m
準耐火造	2m
耐火造	0m



我が家の子ども防災 1・2・3

地震や水害、ミサイルなど、災害が起きた時、いろいろな準備や、いろいろな防災の仕方が情報としてテレビや広報で流れています。でも、いざとなるとなかなか思うように行動できなったり、子どもたちだけの場合、いろんなことを覚えておくのは難しいですね。我が家では、災害が起きた時、最低限のルールとして3つのことを決めています。



その1 災害が起きた場合、まずは自分の身を必ず守る 頭を抱えてしゃがむ
危ないものから離れる

その2 その場にいる人をよく見て、よく話を聞いて、どうすれば安全か考え行動する

みんなで避難するのか?
その場にとどまるのか?

その3 安全が確認出来たら「171」の電話を利用してどこにいるのか伝言を残す
子どもが小さかったときは、電話は無理なので、海蔵小学校!山手中学校!と避難場所を決めていました

災害はいつ起こるかわかりません。準備をしておくことはもちろんですが、まずは簡単なところから少しずつでも子ども達と防災の意識を高めていきたいものです。(万古町 Mさん宅)

